

いちかわ

市議会だより

2009年(平成21年)第183号

1月1日(祝)

発行 市川市議会
編集 議会運営委員会
市川市八幡1-1-1 ☎334-1111
http://www.city.ichikawa.lg.jp/
cou01/154100002.html

市川市議会は毎年4回、2月、6月、9月、12月に定例会を開きます。市議会だよりは原則として定例会が終了した月の翌々の第2土曜日に発行(新聞折り込み)し、審議内容をお知らせしています。



健康都市の取り組み

市川市から世界へ

開会式

第3回健康都市連合国際大会
平成20年10月23日(木)から26日(日)にかけて、13の国と地域、世界機関、国内の参加都市等から、延べ4,992人の参加者が集まり、第3回健康都市連合国際大会が開催されました。
今大会は、「健康で安全な都市社会」をメインテーマとして、市川市文化会館での開催宣言、記念コンサートを皮切りに、市長サミット、基調講演、分科会、絵日記コンクール表彰式などのプログラムが行われました。25日の市長サミットに続いて行われた「健康都市市川宣言」では、健康で安全な都市社会の実現に向けた様々な具体的なプランが発表されました。
また、大会期間中には、市内初となる「還暦式」や、「インターナショナルデイ in いちかわ」などの共催イベントも多くの参加者を集めて、市内各所で行われました。



写真上：還暦式 村上正治先生メモリアル
ちばマスタースオーケストラによる記念演奏
写真下：インターナショナルデイ
民族衣装ファッションショー

身近に感じられる開かれた議会、活性化された議会を目指して

金子 正子
小林 妙子

市議会 議長
市議会 副議長

新年明けましておめでとうございます。
市民の皆様には、お健やかで希望に満ちた初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は、市議会に對しまして深いご理解と温かいご支援ご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、北京五輪に沸き、選手の方々の頑張りに夢と感動を覚えました。一方で、原油や原材料の高騰、米国発の金融危機、自然災害の発生や相次ぐ食品偽装問題に不安を感じる等、光と影が見え隠れした一年となりました。

また、本市におきましては、10月に健康都市連合国際大会が開催され、「健康」をキーワードとして様々な施策が行われましたが、これを機に市民の皆様の健康は勿論のこと、都市の健康というものを真剣に考えて参りました。

さて、地方分権型社会の到来により、市議会における役割もますます重要となり、その責任の重さというものを改めて痛感しております。市議会といたしましては、「市民の皆様が身近に感じられる開かれた議会・活性化された議会」を目指し、インターネットによる議会中継や様々な情報の公開等、議会改革に取り組んで参りましたが、昨年、9月定例会から議会改革の一環として、これまでの議事運営を大きく変え、全議案一括議題及び会派別質疑制、一問一答制を導入するとともに、これまで要点筆記であった委員会記録をほぼ全文に近い概要記録にいたしました。また、電子採決表示システムを導入し、議員の賛否の状況を明らかにすることにより、よりわかりやすい議会が展開されるようになりました。

今後も引き続き、市民のための議会であることを念頭に改革を進めるとともに、これまで以上に皆様の声に耳を研ぎ澄ませ、その期待に応えるべく、誠心誠意、努力して参る所存でございますので、皆様の変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとって幸多き年になりますよう心からお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。





平成21年

会派の抱負



市議会では、市政について同じ考え方や意見を持っている議員が集まって、それぞれのグループ(会派)をつくっています。ここでは、各会派の新年を迎える抱負を掲載しました。なお、掲載位置は抽選により決定しました。また、文字数は所属議員数によって異なります。



みらい

田中幸太郎 金子 正 岩井 清郎
寒川 一郎

健康都市の思いを実現していく

世界が大きく動いています。日本も大きく動いています。『みらい』の私たちは、若い議員と経験豊かな議員が力を合わせ、その動きを幅広く捉え、市川市の向かうべき方向をしっかりと考えてまいります。

政治決定をする際には、議会や行政の都合ではなく、政治は国民・市民のためのものであることを念頭に、是々非々のスタンスを貫いてまいります。

自治体の財政はこれからも厳し

い時代が続きます。無駄を省き効率的な行政運営に力を注ぎ、少子高齢社会の時代に即した政策・教育環境の充実・多くの課題を抱える都市基盤の整備。そして地球規模で始まった低炭素社会へ向けての取り組みに、地域として参加できることを皆様と考えてまいります。

「街の健康は住む人をもっと元気にする」との健康都市の思いを実現して参りましょう。

真摯に立ち向かい希望のもてる市川市づくりを

緑風会

稲葉 健二 松井 努 松永 鉄兵
松永 修巳 竹内 清海

謹賀新年。
昨年は第3回健康都市連合国際大会を本市で開催し、市川市の健康への取り組みを世界に発信して、市川の名を高め、市政史にその成果を刻みました。

我々緑風会は五人の同志が結束し、市民の暮らしを守り、安全安心な公共サービスの拡充を目指し、市長与党として活動しています。

年頭に当たり、次に掲げる事業を喫緊の課題と捉え、全力で取り組めます。◎外環道、都市計画道路3・4・18号の建設促進◎広尾防災公園の建設◎京成電鉄の立体化◎市民病院の民設民営化に向けた再構築◎国府台病院の地域医療としての充実と隣接のスポーツセンターの拡充整備。

引き続き財政健全化対応のもと、政令指定都市の実現に向けた合併問題を含めた調査研究を怠らず、本市の未来に禍根を残さぬよう、この一年真摯に立ち向かい希望のもてる市川市づくりを目指します。

ご理解とご支援をお願いします。年頭の挨拶といたします。

公明党

笹浪 保 宮本 均 大場 諭
堀越 優 松葉 雅浩 戸村 節子
小林 妙子 大川 正博

安全・安心・快適な 生活の充実を目指して

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様には、日頃より力強いご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年、市議団8名は、議会や委員会において、教育の充実、学校支援地域本部事業の充実、いじめ・不登校対策、子どもの医療費助成の拡大、保育園整備及び子育て支援、外環道、都市計画道路3・4・18号の自體年度内の整備、コミュニティバスの充実、駅のバリアフリー化、障害者(児)支援、防犯対策、災害時支援の充実、新型インフルエンザ対策、公共施設の耐震化、民間家屋の耐震化助成、国分川調節池整備、地球温暖化防止、大柏

出張所移転、健康遊具の拡大、救急医療の体制整備、入れ歯リサイクル、民間賃貸住宅の家賃助成の対象者拡大、北総線の運賃値下げ等を質問で取り上げ、市民の皆様への安全・安心・快適な生活の充実を目指して、真剣勝負で取り組んでまいりました。

本年も私たち市議団8名団結をして、「大衆とともに語り、大衆とともに戦い、大衆の中に死んでいく」との立憲精神を胸に、行政のムダを省き「生活を守るのは公明党」との旗を掲げ、市民の皆様への期待に応え全力で働いてまいります。

弱者を守る立場から市政をチェック

市民連合・あい

佐藤 義一 勝亦 竜大
石原美佐子 秋本のり子
湯浅 止子

「市民連合・あい」は、政党を超えたりべラ的な考え方をもち、一人一人の思いを尊重した会派です。豊かな経験者と新人が融合しながら議会に臨んでいます。

政治の混迷の中、昨年国内では食・年金・医療と大きな問題が浮き彫りとなり、アメリカ発の金融危機は世界を大きく揺れ動かしました。今年も経済は内外とも厳しい環境が続くと予想されます。

私たちの政策は、全ての人の権利が大切にされ、安心安全な街づくりに確をおきます。そして、社会の矛盾が尚一層の格差を生むことなく、市場原理主義に反対し、弱者を守る立場から、チェック機能として市政を見ていきます。

また、江戸川の水辺の自然、北部の梨畑、西部の斜面林、南部の三番瀬や古い町並みを守り、自然環境の保全にもしっかりと目を向けていきます。次代を担う子ども達の成長のために教育サポートにも重きを置きます。

多岐に亘る分野に目を向け、五人の叡智を集め全力を尽くします。

自由クラブ

増田 三郎 中山 幸紀 加藤 武央
 五関 貞 井上 義勝 高安 紘一

輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。
 自由クラブは市川第一主義・市民第一主義をモットーに公平・公正・公開を理念とし、自助・互助・公助を行動の指針とし活動しています。麻生内閣がスタートし「日本は強くあらねばなりません」と述べています。犯罪多発、国際経済危機、の新春ですが、司馬遼太郎氏も書かれている様に昔、日本にきた宣教師が本国に送った報告書に「人々はおおむね貧しい。しかし誇り高く生きています」と記されています。先人の立派な生き方

役立つ自由クラブ 市政に睨みを!

に勇気が湧きます。市川は文化力、地域力、市民力等の質も高まっており、自由クラブはその負託に応える為、更なる努力をし議会活動に邁進致します。行財政面では政令指定都市構想を推進し、基盤整備では京成立体化、都営新宿線の延伸、行徳臨海部街づくり推進、外環の早期実現又無電柱化の実現等に、今年も市川に住んで良かったと思われる様、誇れる街づくりに向かって会派一致団結して頑張ります。ご支援の程よろしくお願致します。



(写真右) 市川市民元旦マラソン大会 昭和26年から始まり、毎年市川市スポーツセンター周辺で行われている
 (写真中央) 国府台の辻切り 悪霊や悪疫の侵入を防ぐため、わらで編んだ大蛇を各集落の出入り口にあたる四隅の辻に取り付ける
 (写真左) ならめっこおびしや 毎年1月に駒形大神社で五穀豊穡を祈願して行われ、早く笑ったほうが大盃の酒を飲まなければならない

議員の寄附や年賀状は禁止されています

議員は、お祭りの寄附、スポーツ大会の差し入れ、近所のお祝いなどや、年賀状等(答礼のための自筆によるものを除く)を出すことが公職選挙法で禁止されています

環境の改善、福祉の充実を図ります

民主クラブ

荒木 詩郎 並木 まき 守屋 貴子

新年おめでとうございます。
 昨年は年頭々々株価の一万五千円割れに始まり、経済不況、年金不払い・保険料改定問題、後期高齢者医療制度の導入と混乱・見直し、医師不足による病院たらいまわしの多発、食品汚染等々、国民の政治不信を招いた一年であり、市民生活にも大きな影響を与えた一年でした。
 私たち民主クラブは、当選二期の三名により昨年六月に結成された若い会派です。「生活が第一」の視点で議会活動を進めています。全国でもトップクラスの市川市の財政を市民生活の向上に向け、環境の改善、福祉の充実を図ってまいりますとともに、市民の皆様が安心して暮らし、活き活きと地域活動できるような環境整備を図ってまいります。
 この一年の皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。

市民の声をしっかり受け止め奮闘します

日本共産党

金子 貞作 清水みな子
 二瓶 忠良 桜井 雅人
 谷藤 利子

新年明けましておめでとうございます。年新たになりましたが、みなさんのくらしはいかがでしょうか。
 日本共産党市議団は昨年、国保

や介護、後期高齢者医療の負担軽減、危険な保育園園舎の安全対策、子どもの医療費助成拡大や市民病院の充実、外環や三番瀬の環境対策などがはつきました。
 今、市民のくらしは国の政治と切っても切り離せません。高齢者にとっては、消えた年金は解決しないのに、大増税に、介護保険料、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料と年金引きがあいついでいます。また、若者をモノのように使い捨てにする日雇い派遣や、日本の食の安全と農業を犠牲にする輸入頼みの農政などが続いています。
 国の政治が冷たい時ほど地方政治の役割が重要です。市民の負担軽減や福祉サービスの拡大など、今年も市民の声をしっかり受け止めて奮闘します。

新しい地方議会への改革をめざします

ニューガバンス

高橋 亮平 プリティ長嶋
 坂下しげき 宮田かつみ
 鈴木 啓一

迎春。議会や市の現状を市民のみならずと共有し、市民のみならずが主体的に参加する新しい地方政治の仕組みを創ろうと昨年7月に新会派を結成しました。

次の地方分権改革は議会の改革です。議会と首長の双方が選挙で選ばれる二元代表制を取っている地方政治では、行政チェックと立法機能が求められます。
 会派結成以来、行政の福祉政策に対する修正案の作成提案(あんしん共済)をはじめ、議会改革のモデルを市川で創ろうと積極的に活動してきたほか、議会ことには市内各駅での議会報告なども行ってきました。
 本年には浦安市川市民病院が地域医療振興協会に民営化されますが、救急医療、小児医療、周産期医療、高齢者医療がしっかりと反映される様になります。公共医療の充実や保育園の待機児童解消など、福祉や行政サービスの向上を実現できるよう、ニューガバンスは、これまで以上に市民要望を実現してまいります。

現場第一主義で頑張る

道 かいづ 勉

真間小学校前の信号機は多くの皆様方のご協力により昨年の11月4日に無事設置する事ができました。本年も現場第一主義の議員として頑張ります。



開かれた議会を目指して

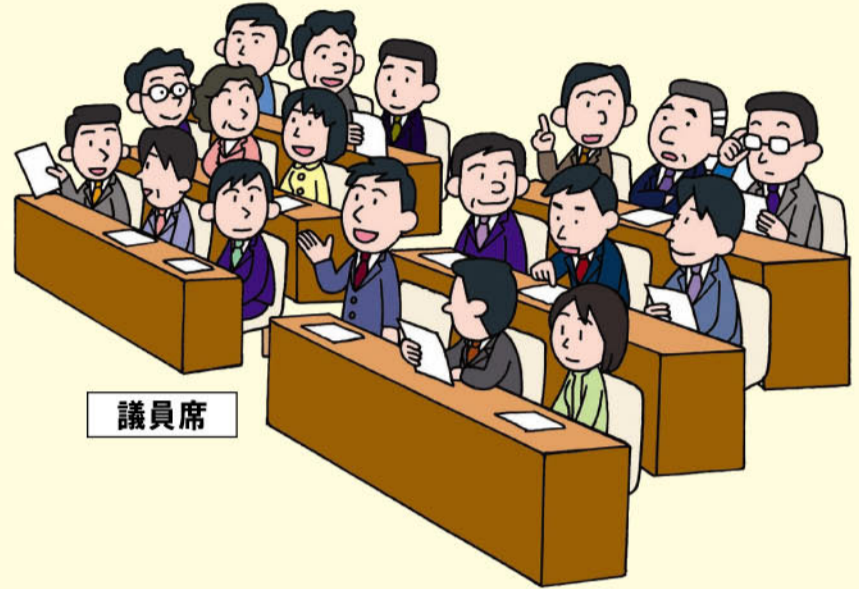
議会改革への取り組み

市川市議会は、開かれた議会を目指した議会改革の一環として、平成20年9月定例会から、質疑方法などを変更しました。

全議案一括議題と会派別質疑制を導入

効率的な議会運営を図るため、6月・9月・12月定例会では、これまでの1議案ごとの審議から、全ての議案を一括して審議することになりました。

また、質疑もこれまでの議員ごとから、会派ごとになり、各会派の所属議員数に応じて割り当てられた時間内で、各会派が決めた順位に従って行われます。



議長

議員席

執行機関



一問一答制でわかりやすい市議会に

市民にわかりやすい市議会を目指して、議案質疑、一般質問のいずれも、これまでの総括質疑、総括質問の他に、一問一答制が選択できるようになりました。

総括質疑とは議題となった複数の議案に対し、まとめて質疑をするものです。また、総括質問は一般質問において、通告した項目をまとめて質問するものです。いずれの場合も答弁はまとめて行われます。

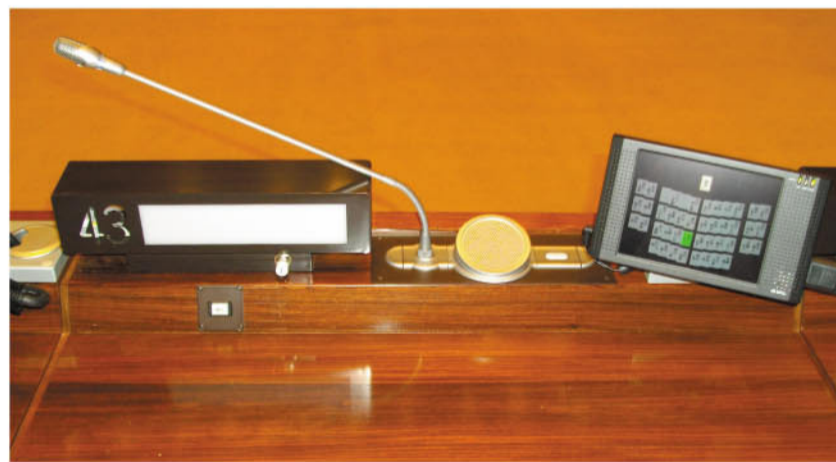
これに対して、一問一答制は一つの質疑事項の中項目または質問事項の中項目ごとに質疑または質問を行い、答弁を求めるものです。

議場システムをリニューアル

傍聴席の大型モニター画面



議席のマイクと小型モニター



電子採決表示システムを導入

採決の方法は、電子採決表示システムの導入により、これまでの起立による方法から、賛成ボタンを押す方法に変わりました。

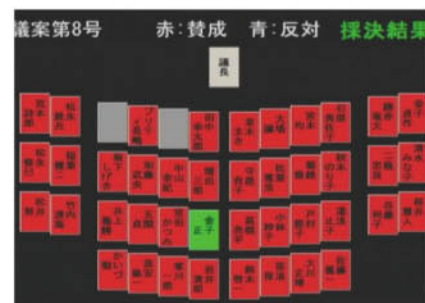
採決の時には各議席にある小型モニターに議員席のレイアウトが表示され、賛成の議員は赤色に、反対の議員は青色に変わり、その後、賛成者、反対者の数が数字で表示されます。

なお、議員別の表決結果は市議会ホームページに掲載しています。

傍聴席に大型モニターを設置

傍聴席に65インチの大型モニターを設置し、電子採決表示システムによる採決結果や、議員の質疑の状況等を映し出すことができるようになりました。

議案第8号 赤:賛成 青:反対 採決結果	
表決総数	41人
賛成	41人
反対	0人



電子採決表示システムにより表示された採決結果(左)と各議員の賛否(右)